

2024

1.15 mom.

1.30 tues.

宇宙線を観測し続けた、理研板橋分所のすべて



板橋区加賀に「宇宙線」を観測する理化学研究所の研究室があったことを知っていますか。



昭和21年から50年以上、毎日欠かさず宇宙から降り注ぐ素粒子を観測し続けた、理研板橋分所宇宙線研究室の全貌を紹介する、初めての展覧会です。

近年の調査で明らかになった史料や貴重な写真のパネル、さらに日本大学生産工学部中澤研究室との共同研究で完全再現が実現した板橋分所の模型と映像などを展示します。

会場：板橋区立中央図書館／会期：2024年1月15日（月）→1月30日（火）

開館時間9:00～17:00(会期中無休)／観覧無料

主催：板橋区教育委員会

関連事業のお申込みは裏面をご覧ください！

本展は、地域産業に焦点を当て、その歴史や文化、社会の実態を考えるシリーズ展です。「工都」は「こうと」と読み、「工業が発展した都市」という意味を表す造語です。明治期以降、板橋区域ではさまざまな分野の産業が高度に発達し、当時から「工都板橋」と呼びならわされて来ました。板橋区史跡公園(仮称)として整備を進めている国史跡「陸軍板橋火薬製造所跡」も工都の形成に深く関わっています。

主な展示内容

板橋分所の系譜 “オヤカタ”の研究をつなぐ

宇宙線研の中心にいた仁科芳雄ら、3人の研究者たちの系譜。

連続観測の挑戦 まっすぐ貫く51年

手仕事の観測で切り開いた素粒子の世界。

山へ！雲の彼方へ！南極へ！ 研究の多角化

1950年代になると、驚きの場所で観測を…！

線が生まれるところ

理研板橋分所で研究した大森主任研究員へ特別インタビュー！

プレイバック！工都展

光学産業&印刷産業展を振り返ります。

日本大学との共同研究

今年もやります！BIMでの理研再現！

特別出展！空間再現ディスプレイ

協力：日本工営株式会社



画像提供

理化学研究所記念史料室
(表面：上から2枚目、裏面：上から1~3枚目)
それ以外は全て板橋区



板橋区史跡公園(仮称)整備事業について

板橋区は平成29年に指定された国史跡「陸軍板橋火薬製造所跡」(板橋区加賀1丁目)を整備し、近代化遺産を保存活用した都内初となる史跡公園の整備を目指しています。

史跡のエリア内には、戦後、理研板橋分所として利用された建物が残っています。



ラーニング・プログラムのご案内

①ワークショップ 3Dプリンター×文化財 史跡公園増殖計画

日本大学の学生が、BIMや3Dプリンターなどの最新技術を駆使し、本展に関するキーホルダー等を制作して配布します！

日時：1/20(土) 11:00-15:00

講師：中澤公伯氏(日大教授)、木下哲人氏(日大専任講師)

協力：日本大学生産工学部ファブトラ活用委員会

会場：板橋区立教育科学館

定員：先着100名(申し込み不要)

3Dプリンターの
トラックがやって来る！



②トークセッション「理研板橋分所を語りつくす！」

理化学研究所と板橋分所の歴史と魅力について、理研に在籍する主任研究員と学芸員が語ります！

日時：1/27(土) 10:00-12:00

講師：大森整氏(理研主任研究員)、三輪紫都香氏(理研学芸員)

会場：板橋区立教育科学館

定員：50名(事前申し込み・抽選制)



お問合せ先

板橋区教育委員会事務局

生涯学習課 近代化遺産活用担当

電話：03-3579-2664 メール：ky-kindaiisan@city.itabashi.tokyo.jp

